



自分で稼いだお金だけに、何に使うかも真剣に考えます。

好奇心爆発！やってみたいがかなう場所 ボンボン商店街

11月28日(土)、にぎわいの里のいち カミーノで消費者教育イベント「ボンボン商店街」を開催し、小学生60人が参加しました。子どもだけの仮想商店街「ボンボン商店街」では、起業や職業体験で疑似通貨「ボンク」を稼ぎ、そのお金で買い物ができます。起業して何のお店をするかは事前に自分で考え、看板や商品を当日までに準備しました。「ざっか屋」などの物販の他に、謎解きコーナーやステージパフォーマンスで収入を得たりと、実生活さながらの創意工夫が見られました。

小学生が提案するにぎわいの秘策

御園小の北国街道にぎわい創出プロジェクト

御園小学校の吉野先生の発案で、同校の6年生らは今年度「北国街道にぎわい創出」をテーマに総合学習に取り組んでいます。12月11日(金)、にぎわいの里のいち カミーノで3カ月間学習した成果の発表がありました。グループ毎に調べ、整理し、提案にまとめて発表。オリジナルキャラクターの製作やネコの足跡の設置など、若い発想でさまざまな活性化策が示されました。提案を聞いた『ののいち里まち倶楽部』の帆苅さんは「真剣な提案を嬉しく思う」と話しました。



パワーポイントを使いこなし、堂々と発表しています。



次はどこに通すんだっけ。見ているこちらは大混乱のあわじ結び

迎える新年への思いをこめて 水引きで作る、お正月飾り

12月15日(火)、女性センターで水引き飾りのフォトフレーム作りが行われました。参加した15人は、花や松、竹などお正月にぴったりのモチーフ作りに挑戦。基本の結び方である「あわじ結び」で、輪の中に上、下と水引きを通していく複雑な動きに苦戦しましたが、講師の指導のもと思い思いの形を完成させました。「結び方が難しかったけどかわいくできた」「家族みんなが見えるところに飾りたい」と、新年を彩る一品の完成を喜ぶ声が上がっていました。

個性も光る！キラキラ輝くリースが完成 こどもセンターチャレンジ教室リースづくり

12月12日(土)、LEDライト付きのクリスマスリースづくりが情報交流館カメラで開催され、市内の親子計83人が参加しました。市国際交流員のエドワードから海外のクリスマスの話を聞いた後、フェルトや松ぼっくりなどを使って自由にリースを飾りつけ。布や木の温かくて優しい雰囲気があり、個性が光る作品ができました。最後に、金沢工大 Toiro プロジェクトがプレゼントしてくれた、手作りの「のっティチャーム付き椿ツリー」を中央に取り付けて完成しました。



親子で協力してすてきなクリスマスリースができました。

まちの話題 FOCUS

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 (☎ 227-6056)

音と光に感謝を込めて

Sparkling Nonoichi サンクスコンサート

新型コロナウイルスに対応する医療や福祉従事者への感謝の気持ちを光で送る『ののいち GENKI イルミネーションプロジェクト』の一環として11月23日(月・祝)、にぎわいの里のいち カミーノで医療・福祉従事者に向けたコンサートが開催されました。VJ ato(映像演出)が創りだす幻想的な空間の中で3組のアーティストが順に曲を披露し、約70人の観衆が刺激的な音と映像美に酔いしれました。出演者は「人前で演奏機会が減っていたので久しぶりに演奏出来て楽しかった」と話し、終始にぎやかなコンサートとなりました。カミーノのイルミネーションは2月末まで点灯していません。皆さんも足を運んでみませんか。



明倫 OB 吹奏楽団



YOCO ORGAN (ラブユニット)



Rikuya (ウクレレミュージシャン)



チケットは完売。観客は生で聞くジャズに酔いしれていました。

野々市で JAZZ！ Nonoichi でスイング！ BIG APPLE in NONOICHI 2020

今年で26回を数えるジャズの祭典「BIG APPLE in NONOICHI」が11月22日(日)に文化会館フォルテで開催されました。感染症対策として、例年行っていた学校訪問やワークショップは中止、アーティストは国内で活躍する皆さんを招きました。前半は、野々市市が拠点のビッグバンド「Moonlight JAZZ Orchestra」が Luis Valle 氏を初めとする豪華ゲストと共演。後半は、井上智氏が2011年11月の市制施行を記念し作曲した「Nonoichi Swing」などを披露し、会場を沸かせました。

将来の自分と向き合う 令和2年度野々市市立志式

11月25日(水)、文化会館フォルテで中学2年生505人を対象に立志式を挙行了しました。志を立て、大人になる自覚を持ってもらうことを目的に毎年開催しているこの式典。今年は感染症対策として、午前・午後で参加者を分けた2部制での実施となりました。第1部で栗市長は「自分が決めた志を胸に、前向きな人生を歩んでほしい」と式辞を述べ、野々市中学校生徒代表の中村莉緒さんは「目標に向かって努力し、ほかの誰かを支えられる大人になりたいです」と答えました。



マスクをしてお誓いの言葉。力強い未来への誓いを話しました。